「長崎被爆体験証言会と紙芝居　Ⅱ」　講演資料
□令和8年11月15日（日）　13時開会
□玉名市文化センター　第一研修室

「結成70年　日本原水爆被害者団体協議会“日本被団協”」の活動

熊本県被団協二世部会　共同代表　　原田　俊二

1　自己紹介　　広島被爆二世

2　原爆投下後の10年　～空白の10年～
- □被爆者の病気
- □被爆者の精神状態
- □被爆者の社会生活　～貧困～
- □原爆の遺伝　～偏見、差別、いじめ～

3　日本被団協の結成
- □1955年8月6日　　広島　第1回原水爆禁止世界大会
- □1956年8月10日　　長崎　第2回原水爆禁止世界大会
- □1958年12月　　「熊本県被団協」結成
- □結成に寄与した人々

ABCCの検査　　韓国の被爆者家族　　久保山愛吉さんの家族
渡辺千恵子さん　　8／10長崎の議場　　1956年11月座り込
ニューヨーク国連での山口仙二さん

4　被爆者の願い、訴えてきたこと
- □日本が最後の被爆地に！
- □核兵器の廃絶
- □原爆被害者の国家補償

5　現状
- □核兵器の脅威
  - ロシア、ベラルーシ、イラン、イスラエル、アメリカ
- □核兵器の増強
  - ヨーロッパ（イギリス・フランス）、北朝鮮、中国
- □対応
  - NPTの有効化
  - 核禁止条約の締結国、批准

6　日本被団協の今後
熊本の現状、各県被団協も1年以内に活動を決める



日本被団協の結成

原爆から十一年、私たちは今はじめて
全国から集まることができました。
今日までだまって、うつむいて
わかれわかれに、生き残ってきた私たちが
もうだまっておれないで手をつないで
立ち上がったのでございます。
私たちの言葉は
あの瞬間に無残な死をとげ
原爆症で次々に死んでいった
三十数万の父や母
息子や
声なき声
お受け



被爆者は訴える

私の顔や手をよく見てください。
世界の人々と、そして、
これから生まれてくる世代の子どもたちに
私たち被爆者のような
核戦争による死と苦しみを
たとえひとりたりとも
許してはなりません。
私たち被爆者は訴えます。
いのちのあるかぎり
ノーモア ヒロシマ
ノーモア ナガサキ
ノーモア ウォー
ノーモア ヒバクシャ

〔82年6月、第二回国連軍縮特別総会での山口仙二「演説」〕

35